

第12回日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会 分科会募集要項

「ジオパーク」をキーワードに、教育、経済、環境、社会など様々な分野について、グループワーク等をとおして議論を深めます。

1.定員

各40名。定員を超えた場合は抽選となります。抽選結果は申込〆切後にご連絡します。
可能な限り皆様にご参加いただけるよう調整いたしますが、申込多数の場合は第3希望であってもご参加いただけない可能性があります。

2.申込方法

大会公式 HP の「参加登録・申込」(<https://taikai.geopark.jp/2022/>)にて大会登録手続きを行い、参加を希望する分科会にお申込みください。

分科会は以下6つを実施します。第1希望～第3希望までお選びください。

第1希望のみの選択も可能ですが、抽選に外れた場合は参加できません。

3.オンライン参加

分科会①・③はなし、②・④・⑤・⑥は視聴のみ可です。

詳細は「オンライン参加募集要項」をご確認ください。

4.分科会概要

各分科会については、次ページ以降の概要をご覧ください。

【分科会①】

タイトル	ジオパークだからこそできる DX(デジタルトランスフォーメーション)化
日時	令和4年10月22日(土)13:30~17:10
会場	福祉ふれあいセンター 2階 研修室 (JR 松任駅からシャトルバスがでます。片道約10分)
企画者/団体	白山手取川ジオパーク、(一社)隠岐ジオパーク推進機構、金沢工業大学、株式会社スマートホテルソリューションズ
オンライン参加	なし
参加者想定	DXの本質を学びたい方、経済・環境・社会の調和におけるジオパークの存在価値を学びたい方・発信したい方
概要	<p>これまで私たちは、専門家を中心に「ジオ」「エコ」「ひと」を連動して捉え、各領域を探求してきた。一方でESGの側面から、経済界においても環境・社会にまつわる様々な事象は重要なリソースだとする捉え方が新常識になった。ジオパーク活動を通じて得られる様々な知見は、経済を牽引する企業や新しい社会を切り開く若者にとっても重要な資源であり、それら知見がデジタル化されていることで、メタバースや NFT といった新技術が台頭する社会のなかで新たな価値を創出することが可能となるのだ。本分科会では、グループトーク及びパネルディスカッションを通して、JGNにおけるDXの在り方を議論し、ジオパークだからこそ実現できる経済・環境・社会の調和を提言する。</p> <p>コーディネーター:福田崇之氏(金沢工業大学産学連携局)</p>
備考	福祉ふれあいセンターに昼食用の部屋をご用意してます。

【分科会②】

タイトル	ジオパークはSDGsの教育としてどんな地域学習教材を提供できるのか?
日時	令和4年10月22日(土)14:00~17:00
会場	松任文化会館ピーノ 4階 研修室
企画者/団体	JGN 教育 WG
オンライン参加	Zoom 視聴のみ
参加者想定	ジオパークの教育活動に関わる事務局・ジオガイド、学校教育の方(学校教職員など)、社会教育の方(社会教育主事など)
概要	<p>学習指導要領の改訂に伴い、学校現場では、SDGsを意識した探究学習の進めに課題を感じている先生は多い。そこで、白山手取川ジオパークで実施している「ジオ遠足」を題材に、SDGsを意識した地域学習教材のあり方を検討する。また、各地の教育活動についても情報交換を行いたい。</p> <p>コーディネーター:山本隆太氏(静岡大学地域創造教育センター)</p>
備考	

【分科会③】

タイトル	新しい「旅」のスタイルを考えよう
日時	令和4年10月22日(土)14:00～17:00
会場	松任公民館 1階 体育室 (メイン会場から徒歩約5分)
企画者/団体	菽ジオパーク 白山手取川ジオパーク
オンライン参加	なし
参加者想定	事務局などジオパークを運営する立場の方、ツアーのプログラムや事業戦略を練る方
概要	変動帯に生きる私たちにとって、変化に柔軟に対応する力は欠かせない。コロナ禍で日常は一変し、観光業界においても新しい旅の形が模索されてきた。オンラインツアーを始めとする試行錯誤の経験を共有した上で、変化に応じて「新しい旅のスタイル」を生み出す思考をグループワークで実践し、社会におけるジオパークの役割を議論する。 コーディネーター：白井孝明氏(菽ジオパーク)
備考	

【分科会④】

タイトル	地質標本販売を考える～地質標本販売にはどんな問題があるの？～
日時	令和4年10月22日(土)14:00～17:00
会場	松任公民館 2階 研修室 (メイン会場から徒歩約5分)
企画者/団体	JGN 地質標本収集・販売を減らすための情報発信 WG
オンライン参加	Zoom 視聴のみ
参加者想定	ジオパーク事務局員および関連施設、商店、ガイド関係者 等
概要	ユネスコ世界ジオパークの基準では「ジオパークは地質標本などの持続可能ではない取引を積極的に防ぐべき」と定められていますが、この「持続可能ではない取引」とは、何をさすのでしょうか？本分科会では、ジオパークとしてこの課題に取り組む背景や、実際に国内や世界でどのような問題が起きているのかなどについて紹介します。また、各地域が直面している課題や、ジオパークとして取り組めることなどについて、参加者間で意見交換を行います。 コーディネーター：加賀谷にれ氏(洞爺湖有珠山ジオパーク)
備考	事例紹介者やコーディネーターが、Zoom 等リモートで参加する可能性があります。

【分科会⑤】

タイトル	「やさしい日本語」でジオパークを表現しよう～UD を使った誰もが住みやすいまちづくり～
日時	令和4年10月22日(土)14:00～17:30
会場	松任文化会館ピーノ 3階 研修室
企画者/団体	JGN ユニバーサルデザイン WG
オンライン参加	Zoom 視聴のみ
参加者想定	ユニバーサルデザインに関心のある方、わかりやすい看板やパンフレット作りに取り組む方
概要	<p>白山市の取り組む「やさしい日本語」事業を事例として、どんな方でも「ジオパーク」を楽しめるためには何を考えればよいのか、どういった工夫をすると良いのか等を検討する。また現地の看板・パネルも見学し、表記されている文章だけではなく構造上のポイント等も検討する。</p> <p>コーディネーター：松原典孝氏(山陰海岸ジオパーク)</p>
備考	

【分科会⑥】

タイトル	自然災害伝承碑とジオパーク
日時	令和4年10月22日(土)14:30～17:00
会場	松任学習センタープララ 2階 ライブシアター (メイン会場から徒歩約2分)
企画者/団体	JGN 自然災害伝承碑 WG
オンライン参加	Zoom 視聴のみ
参加者想定	自然災害伝承碑に関心はあるが、どこから手を付けていいかわからない地域。自然災害伝承碑を登録しているが、活用に結びついていない地域。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害伝承碑について理解を深める ○自然災害伝承碑の掘り起こしと登録手続きについて学ぶ ○自然災害伝承碑の活用について事例共有し、自地域に持ち帰り、活動を展開する。 <p>30分程度の講演会を2件行い、その後、各ジオパーク地域からの事例発表を行う。</p> <p>コーディネーター：宮原育子氏(宮城学院女子大学)</p>
備考	